

県立病院総合医療情報システム更新整備等事業の進捗状況について

1 事業概要

- 県立病院の総合医療情報システムについて、中央、新庄及び河北病院の現行のシステムが昨年度から今年度にかけて順次更新時期を迎えることから、引き続き円滑な診療体制を維持するための更新整備に取り組んでいる。
- 将来の3病院の総合医療情報システム統合化を視野に入れ、電子カルテ、医事会計などの基幹システムについて、共通パッケージソフトの導入を進めてきた。
- この度、新庄病院のシステム更新により、3病院への共通パッケージソフトの導入が完了する予定である。

2 新システム稼働日

病院名	稼 動 日
県立中央病院	平成 30 年 12 月 31 日 (月) (済)
県立河北病院	平成 31 年 2 月 11 日 (月) (済)
県立新庄病院	令和元年 12 月 1 日 (日) (予定)

3 更新整備事業の進捗状況

- 新庄病院では、全職員を対象とした操作研修や、実地に模擬患者を配置しての入院、外来の受付から検査、診療、会計までの一連の流れに沿ったリハーサルを重ねており、新システムの稼働に向けて万全の態勢で準備を行っている。

<リハーサルの状況>



- 新システムへの切替えに当たり、旧システムからのデータ移行やシステムの連携確認作業のため、新庄病院では、11月29日(金)午前9時から12月1日(日)正午までの51時間、システムを停止させる。そのため、11月29日(金)は外来診療を休止するが、救急患者は通常どおり受入れるほか、入院患者についても、円滑な診療が行えるよう紙のカルテで診療を行い、これまでの診療の経過等の情報を電子データで参照できる方策などを講ずることとしている。